

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	脳MRI定量画像による病変評価・撮影法研究			
2. 対象患者	2020年5月から2020年11月の間に放射線診断科で脳MRIを撮影された患者さん			
3. 対象となる期間	2020年 5月 1日 ~ 2020年 11月 10日			
4. 実施診療科等	放射線診断科			
5. 研究責任者	氏名	対馬史泰	所属	放射線診断科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	ありません			
7. 研究の意義	最近、MRI信号を定量化する画像技術として、フィンガープリンティング(MRF)、シンセティックMRI(Syn-MRI)、定量的磁化率マッピング(QSM)が開発されました。信号の定量化により、病変を数値として評価できるようになり、今まで困難とされた様々な脳の病気を診断できる可能性があります。また、近年、脳MRI検査について、診断用人工知能の開発が急速に進められていますが、定量化MRI画像を用いることで更に高精度のものが開発できます。今回の研究では、これら脳MRI定量画像の精度検証と有用性について後ろ向きに検討します。			
8. 研究の目的	脳MRI定量画像を用いて脳構造の描出、病変の診断能を評価することで、脳MRI定量画像の有用性と適切な撮像パラメータを明らかにします。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	2020年5月から2020年11月の間に放射線診断科で脳MRIを撮影された画像データを用い、後ろ向きに調査します。収集した情報は、個人を特定できる情報を削除する匿名化を行います。個人と匿名化ID研究番号の対応表は施錠可能な保管庫等に厳重に管理します。研究責任者が解析を行います。 このような研究の場合、文部科学省、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開し研究を行うことが認められております。患者さんから拒否の申し出があった場合の対応ですが速やかに情報を削除します。			
10. 個人情報の保護	利用する情報からは、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。ただし、既に解析済の場合や成果公表後など、拒否の申し出のタイミング次第ではデータの削除に応じられないことがあります。			
11. 利益相反に関する状況	研究費として株式会社製薬会社日本メジフィジックス、ゲルベジャパン、エーザイから寄付金を受領しており、利益相反状態にあります。ただし、本研究への企業の関与は資金提供以外になく、本研究は放射線診断科の研究グループにより公平・公正に実施されます。その他、研究責任者、共同研究者共に当該企業との個人的利害関係はありません。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院放射線診断科 対馬史泰			
	電話	0172-39-5103	FAX	0172-33-5627